

ASTE REPORT

あすて

2016▶▶▶2020

中期報告書

2016 ▶ ▶ ▶ 2020

ASTE MISSION



あすて 50周年を記念し
製作した記念ロゴ

「行動しよう！笑顔のために」

あすては5年ごとに中期計画を策定し、常に時代の変化とニーズにあわせた事業を展開してきました。

設立50周年の年にあたる2016年度から始まる中期計画の活動目標は、

「行動しよう！笑顔のために」

設立時から変わらぬ「ボランティア精神」を基本理念とし、地域と、世界と、未来を笑顔にするために7つのテーマを設け、誰もが持っている社会のために役に立ちたいという思いを大切に、ボランティアの皆さんとともに多彩な事業を展開しました。



2016年12月11日にあすては設立50周年を迎えました。記念式典では賛助会社やボランティアの皆さんをお迎えし、間伐材で作った原寸大初代カローラのお披露目などが行われました。

MESSAGE

1966年設立時の原点に帰り、先人たちが目指してきた「明るく住みよい社会」のために、ボランティアとともに事業を進めて20年が経過しました。

まずボランティアたちに自分たちの活動を通して明るく住みよい社会を作っていくという夢を描こうと呼びかけた“With Your Dreams”、その夢を未来につながるようにしよう“Dreams to the Future”、そのためにはみんなが笑顔になることが明るい社会になるのだと進めた”共に築こう笑顔の世界“、そして50周年を迎えた2016年から2020年は、それまでは内なる充実にも努めてきたものを、もっと積極的に地域、世界、未来にと外に目を向けて地球上全ての人の笑顔を求めて活動しよう“行動しよう！笑顔のために”というスローガンのもと七つのテーマを設け、そのテーマごとにフェスタを実施するなど、外部にもわかりやすく取り組んでまいりました。

ボランティアと事務局スタッフがお互いに知恵を出し合い、力を合わせてその時々の変化に鑑みながら推進してきた20年間、築いてきたものは本当にささやかですが、あすてに来ると“なんだか心が洗われる、ほっとする”と言われるように、小さな単位である一人ひとりが前向きに笑顔で生き生きと続けてこられたことが何よりの証ではないでしょうか。

社会が大きく変化している今、消えていくもの生まれるもの多々ある中で、最後に残るのは人々の心だと確信しています。社会のためにと願うボランティアの温かい心を燃やしてつむいでいこうと“心をつむぐ あしたを織る”として次なる5年間を進めてまいります。そのあとには還暦を迎えます。“六十而耳順”と孔子が説いていますように、これからも様々な方からのご示唆やご助言を大切に謙虚に受け止め、日々努力を重ねてまいります所存でございます。

公益財団法人あすて 理事長 豊田 彬子



ACTIVITIES

2016 ▶ ▶ ▶ 2020

いかす

長年にわたり、培ってきた技を活かし、
地域に貢献します。

■製作

伝統的なものづくり技術の伝承として、染織グループ
が、羅織(らおり)の復興に取り組みました。



■間伐材有効活用プロジェクト

間伐材を活用し、ベンチや積み木を製作し、こども園や
児童養護施設などに寄贈しました。



■間伐竹有効活用プロジェクト

間伐竹を活用し、竹炭や竹製品をつくりました。



つながる

他者とつながることで、あたたかさの輪を
地域に広げます。

■中国植林活動

中国内モンゴル自治区の砂漠化地帯で、日本人と中国
人が協力して植林しました。



■チャリティー活動(募金収集、コンサートなど)

■ジオラマ

■ポットラックガーデン

■あすてらんち



■ 慰問演奏

老人ホームなどで演奏活動を行いました。



よりそう

お互いによりそい、元気や優しさを、
地域に届けます。

■ いきいきタイム

地域の高齢者が生き生きと暮らせるように、ボランティアが主体となって様々な体験会を実施しました。



まじわる

世界中の人々がお互いを理解し、違いを認め
合い、尊敬しあえる友好関係を築きます。

■ たのしいにほんご

地域に暮らす外国の人たちを対象に、ボランティアとの
日常会話を通した日本語の学びの場を提供しました。

■ すくすくママ

未就園児を持つお母さんたちが、孤立せず、お互いに
育ちあえるように支援しました。



■いいとこ発見ツアー

公共交通機関でも行けるような、身近にあるちょっといい場所を外国の人にも知ってもらい、実際に一緒に出掛けるツアーを実施しました。



■HATAKE プロジェクト

国籍を超え、ともに畑仕事で汗を流し、収穫の喜びを得る機会をつくりました。



■文化交流

春節祭など、世界の文化を体感し、違いを認め合い、交流し合う機会をつくりました。



■日本文化体験

外国の人たちに、日本の文化を体験してもらうために、ボランティアの特技をいかした催しを開催しました。



■World Cuisine

外国の方にお国の料理を作ってもらい、食を通して世界の文化を知る機会をつくりました。



ささえる

世界中の困難に立ち向かっている人々に
目を向け、できることで支えます。

■チャレンジアジア

グループが主体となって、カンボジアの水質改善や子どもたちの教育支援活動を行いました。



■難民支援

バザーなどを通し、世界の難民の現状を知ってもらい支援する活動を行いました。



■クルマづくり究めるプロジェクト

クルマづくりの様々な活動を通して、子どもたちにも
のづくりの難しさ、喜び、達成感などを伝えました。



■パパレンジャー

男性保育師のボランティアによる、子育て中のお父さんたちを対象にした連続講座を開催しました。



いどむ

未来に貢献できる新しい何か(もの・こと)を
生み出します。

■ブラックボックス

社会をより良くするために、まだ誰も見たことのない新しいアイデアを思いつき、それを実現させたいと考えている人たちのために基金を設け、相談対応しました。

そだてる

未来に貢献できる人を育てます。

5年間で生み出された笑顔の数々



2000年に埋蔵されたタイムカプセルが、50周年記念日に開封されました。



2012年に始まった中国植林は、2018年時点で延べ436名のボランティアが参加し、100万本以上の木を植えました。



初代からくり大賞グランプリ作品は、山上哲氏「歯車機巧樹～機上の営み(啄木鳥・蜂鳥・小鳥)～」



間伐材有効活用プロジェクトでは、5年間でベンチ約70脚、積み木250箱、コロコロ積み木40台を製作・寄贈しました。



国際協力、ものづくり、エコファミリー、スマイル、からくりをテーマにフェスタを開催しました。

間伐材カローラは、2019年に愛知県で開催された全国植樹祭でも展示されました。



5年間で延べ53グループ4256名のボランティアが活動しました。



NEXT PLAN

2021年度～2025年度 中期目標
「心をつむぐ あしたを織る」



心をつむぐ
あしたを織る

2020年、世界は新型コロナウイルスのパンデミックに見舞われ、これまでの常識が覆されました。また同時に、世界は2030年の、誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現に向け動き始めています。

そんな新たな時代に、あすでは、社会のために力になりたいと思う人たちの心を燃やして丈夫なものにして、あしたを織っていくことを目標に、新たな中期計画を策定しました。“りっしんべん”のロゴは心をつむぐことを表し、グラデーションの色はSDGsの17の目標を表しています。

コロナ後のニューノーマルな社会はどのような姿であるべきか。SDGsの実現を念頭に、ボランティアと共に挑戦していきたいと思えます。

編集・発行

公益財団法人あすて

〒473-0911 愛知県豊田市本町本竜43

TEL:0565-52-0362 FAX:0565-52-0363

HP:<https://www.aste-toyota.com>



HP



MAP